



日一十月三年五和昭 (日一月八年十和昭) (可運物便郵種三第)

町の反対を退けて

許可は出来ぬ模様

当局にも某派の策動を知る 矢張地上の影響を認む

平町が磐城炭礦に地下採掘を
出願された反對陳情は去る廿
九日午前十時同町長青沼録太
郎氏外町會議長井上茂作、町
議萩原義雄、多田井笑次郎、
佐々木龍若、吉田五平、猪狩
親徳、川崎文治の諸氏仙仙台
山監督局に出頭して後藤局長
以下白井鐵政課長、瀬尾鐵業
課長、星島等と懇談的に右反
對に對する質疑應答あつたが
正午に至る約二時間の懇談に
も問題の収まりがつかず午後
更に二時間余を費して陳情一
行の歸町を見たが右について
白井鐵政課長の語る所は
實地に付ても慎重な調査を
要することは勿論で政治的
にも影響するところが大き
い爲めに更に研究の上で遺
憾のない處理をしたい
とのことであるが此の問題は
平町の主張にも相當の理由あ
るを認められてゐるものゝ如
く殊に某派の暗躍する策動は
當局にも察知されてゐる模様
であつて監督局に於ても地下
採掘による地上の動搖を否認
し得ない結果として町民多数
の不安感を抑切る譯には行か
ずとせられる事情を窺はれる
ものが多いため結局は不許可
であらうと見られてゐる(仙
台市KS生)

某國間諜潜入

炭礦の火薬庫を覗ふ

平署全署員を非常召集 昨夜特別執行の装定

平署柴田署長は今晚午前〇時
突如管内全署員の非常召集を
命じ全管内に亘り非常警戒の
演習を執行したが當夜の演習
装定は次の如くである
演習装定
最近某國間諜内地に潜入し
樞要都市に於ける重要建築
場火薬庫等の所在を内密に
調査し是等を爆破するの企
平署柴田署長は今晚午前〇時
突如管内全署員の非常召集を
命じ全管内に亘り非常警戒の
演習を執行したが當夜の演習
装定は次の如くである
演習装定
最近某國間諜内地に潜入し
樞要都市に於ける重要建築
場火薬庫等の所在を内密に
調査し是等を爆破するの企

好問、赤井、湯本等の火薬倉
庫を中心に出動警備に努めた
結果午前四時此の警備を解除
した午前八時柴田署長から訓
示講評後午前十時から大浦村
新舞子海岸に於て慰勞の宴を
開いた當夜の非常召集に就て
柴田署長は
自分が赴任後最初の計畫で
その装定も大規模のもので
あつたが署員の緊張した活
動により豫定の成績を上げ
得た發令後一分には三名
の出署を見約一時間にして
全員出署した如き稀れに見
る優秀成績である

昇る水銀柱

連日四千立方米以上に 水道部大童で給水施設

昇る水銀柱：土入り後連日
九十度線を突破する此の頃の
暑氣：舊宇園盆會同近頃頃
しては珍らしい酷暑振りだ、
灼熱の炎天から焼く様な陽光
が暑熱に喘ぐ三町民の頭上
から遠慮もなく射り注いで海
へ山への逃避者が刻々増して
ゐる
此の炎暑に正比例して平町の
水道使用水量が俄然急激なビ
ツチを上げて増加して二十二
日以來連日四千立方米突破と
言ふ平町水道部創設以來の最
高記録が生み出され二十三日
の用水量が續くなら遂には配
水不可能にさへ陥るだらう
と憂慮されるに至つた平水道
當局では今三十一日人夫十名
を水源地に派して大關の漏水
防止に必死となつて塗り止め
仕事を續けてゐる

泥警官の智慧くらべ

裏をかかれて御用 三年間に亘り訝やかに 盗み續けた前科六犯男

去昭和七年來平津村を中心に
谷等各村に亘り頻々たる白米
近接の好問、赤井、小川、神
窃盗事件が續けられその被害

も可成りに選してゐるので所
轄平署で犯人捜査を續けてゐ
たが此の白米泥事件は定まつ
て駐在所巡査の召集前夜に限
られて居り、被害届出のある
頃は何時でも駐在所員が出署し
た後なので捜査が何時も手遅
れとなつてゐたので犯人の頭
の好さと巧妙な犯行には流石
に明敏な署員も頗る手苦措つ
て居り署内の事情に餘程通じ
てゐるものゝ處爲と晩んでゐ
たが今三十一日の出署日前
にして犯人逮捕を決意した平
津駐在所長谷川巡査は三十日午
後九時から同村消防組員の協
力を援けて全村要所に配
置警戒中午後十一時頃同村中
平津地内を一俵の白米を懸る
軽と據いだ一見愚夫愚女の男
が歩いてゐるのを警戒中の消
防組員が発見難呼した處據い
てゐた白米を地上に投げ捨て
矢張に逃走したので組員が
追跡大格闘の末遂に逮捕した
本署に引致取調の結果右
は當時住所不定無職大沼郡水
井野村生れ窃盗前科六犯高橋
喜一(三)で福島刑務所を出所
後平津地方に流れ込み平津村を
中心に白米を専門に一俵二圓
位づゝ盗んで賣り飛ばして
ゐたもの、長い泥棒生活から
署員が出署日の前夜は早く熟
寝する事を知つてゐるので此

平驛の七月貨物

千七百卅九圓増収 發送九二〇噸到着一〇六五噸増

平驛に於ける七月の貨物動態
は種別は月並みのものであつ
て季節もの、ビール其の他清
涼飲料物が割合に動かす昨今
地方産の桃類が弗々出廻つて
居るが發着共に平均を保たれ
ず一時に混雜する荷動きを呈
してゐる當月中の發送は
上旬一八七噸 中旬二一
七六噸 下旬(三十日迄)一七
五八噸 計五八〇噸
到着上旬四九二噸 中旬四
二六七噸 下旬(三十日迄)四
七二六噸 計一三四一噸
で前年同期に於ける全月分發
送四八八噸に比し九二〇噸
を増加し到着では二二三八噸
より一〇六五噸増を示してあ
る次へで収入にありては左記
の如くこれも既に一七三九圓
の増収である

明日の俵米共販

千八十俵 米價は保合か

石城郡販賣聯合會に於ける明
日の俵米共同販賣の出荷は
左記の如く合計千八十俵を算
してゐるが米價は打續く好天
候による稲作の好豫想もあり
の跡に徴すれば普通選米法の
の積雪に冷雨さへ加はり健康
な若者でも堪へ難き悪天候で
あつたが、健氣にも一老婆は
施された以上、殊に日本精神
の振興しつゝある今日、宜し
く國體の上よりして思召愛國
と選米思想の根本義とを深く
一般人の腦裡に注入して茲に
健全なる選米を行ふ様に務む
べきは、時節柄何よりも急務
である、
最近歐州に於て行はれたザ
等々の日本魂の結晶として、我

支那創立

日本醫大同志 支部創立

日本醫科大學出身者から成る
日本醫科大學同窓會の石城支
部創設の計畫を進められてゐ
たが去二十八日平町に開かれ
た縣醫師會學術大會に特別講
演のため來平した母校學長藤
田博士を迎へ大會終了後谷口
樓に於て盛大な創立發會式を
舉行、第一回役員は
支部長金成忠義 幹事木村
淳 鈴木正男
と決定した

産馬組區長會

今日團體で 郡產馬畜産組合區長會は三十

一日午前十時から左記議案を
協議した
一 產馬獎勵規則 二 馬育成
施設獎勵 三 二ヶ年繼續産
駒獎勵 四 貸付牝馬整理そ
の他

一票汚れて國汚れる

中央報徳會

即ち從年の三百三十萬人の
有権者を一躍してその四倍に
相當する千二百四十萬人とし
た爲め、選挙法の精神は思ふ
様に徹底せず、且つ従來も選
舉上の訓練が充分に出来て居
らなかつたので、これが實施

松井博士述

の跡に徴すれば普通選米法の
の積雪に冷雨さへ加はり健康
な若者でも堪へ難き悪天候で
あつたが、健氣にも一老婆は
施された以上、殊に日本精神
の振興しつゝある今日、宜し
く國體の上よりして思召愛國
と選米思想の根本義とを深く
一般人の腦裡に注入して茲に
健全なる選米を行ふ様に務む
べきは、時節柄何よりも急務
である、
最近歐州に於て行はれたザ
等々の日本魂の結晶として、我

